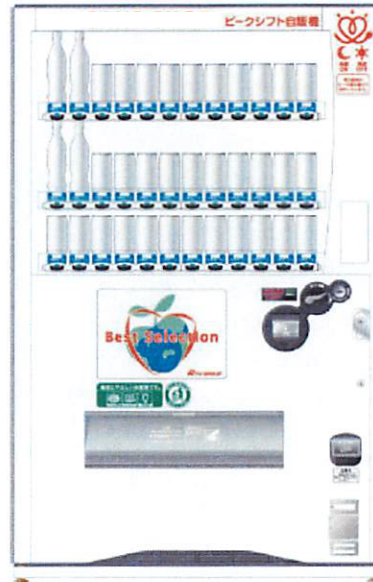


ヒートポンプ式自販機より大幅な電気代を削減致します

最新型 超省エネ自動販売機
ピークシフト自動販売機について



ジャパンサービス株式会社
TEL 0120-1755-81

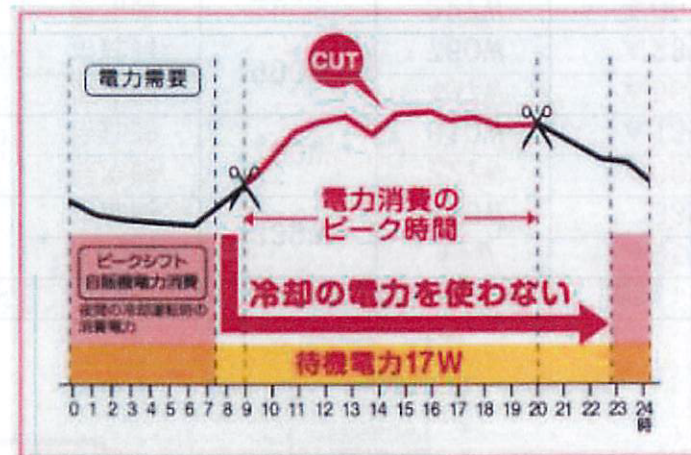
ピークシフト自販機特徴

昼の分まで夜冷やす新発想。
ピークシフト自販機、登場！

ピークシフトって何？

日中は電力を使わず夜間に集中冷却。
消費電力をなんと95%^{*1}削減！（17W^{*2}）

- ※1 ピークシフト時は、冷却に使用する電力を使わないため、従来の消費電力の95%を削減して運転します。
- ※2 扇風機の半分以下の電力。
参考：冷蔵庫⇒150-600W、扇風機⇒50W



夜間に昼の分まで冷やせば、
日中の消費電力は通常の5%で済みます。
※出典：東京電力HPより2012年6月1日の電力使用実績

なんでずっと冷たいの？

1 保冷・保温効率の向上。

真空断熱材を従来比の4.5倍(体積比)使用。
さらに気密性を高めて、冷気が逃げるのを防いでいます。

2 庫内を全体冷却。

夜間に集中冷却することで、
自販機をクーラーバッグのようにしているのです。

ピークシフト自販機

《特長①》

特長

1

夏の日中に使用する消費電力

-95%



冷却のための電力使用を、一般的に電力使用が「**ピーク**」となる日中から、比較的電力に余裕がある夜に「**シフト**」しています。

ピークシフト時は、冷却に使用する電力を使わないため、従来の消費電力の95%を削減して運転します。

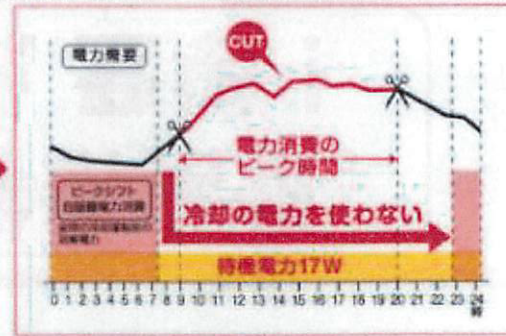
冷温モード	状態	12年標準機	ポラーベア	増減
CCC (定格値)	保冷時	339W	17W	▲95%
	冷却時		450W	33%
HCC (テストデータ)	保冷時	700W	227W	▲68%
	冷却時		610W	▲13%
HHC (テストデータ)	保冷時	990W	437W	▲56%
	冷却時		760W	▲23%
CHC (テストデータ)	保冷時	730W	227W	▲69%
	冷却時		640W	▲12%

扇風機の半分以下の電力。日中は待機電力だけを使用、消費電力を95%削減(17w)

*ピークシフト時は、冷却に使用する電力を使わないため、従来の消費電力の95%を削減して運転します。

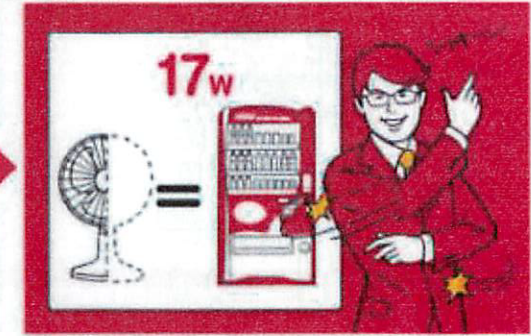


通常の自販機は約350wの電力を使用しています。



夜間に昼の分まで冷やせば、日中の消費電力は通常の5%で済みます。

※出典: 京京電力HPより2012年6月1日の電力使用実績



日中の消費電力は17W。扇風機の半分以下の電力です。節電時代の頼もしい味方です!

ピークシフト自販機 《特長②》

特長

②

冷たいまま冷却停止可能

16時間



ピークシフト自販機の3つの工夫

①「全体冷却」

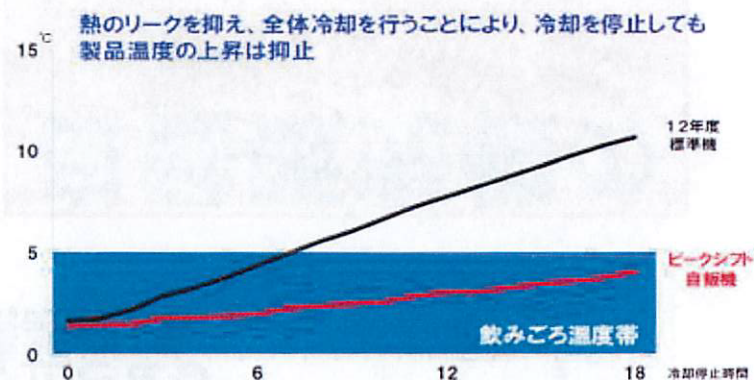
比較的電力に余裕がある夜間に収容製品の全量を冷却し保冷機能をもつことで、長時間冷却を停止しても、製品の温度上昇を抑制します。

②「断熱効果向上」

従来のウレタン素材に替え、10倍の断熱性能を持つ真空断熱材をより多く採用することで、熱性能を高め外気温の影響を受けにくくしています。

③「気密性向上」

扉の気密性を高める改良を行い、冷気が逃げにくくする工夫を施しました。



昼の分まで夜冷やす。ピーク時間を避け、夜間に冷やせば、いつでも5℃以下を保冷



今までは、電力需要がピークとなる日中に製品を冷却していました。



電力に余裕のある夜間に冷却して、保冷機能をグンと高めれば...



半日以上は電力を使わなくても、いつでも冷たい製品を提供できます。

ピークシフト自販機

《特長③》

特長

3

冷却を止めるから
ほぼ無音

冷却運転のためのコンプレッサーを長時間停止させることから、運転音が発生せず、静かな自販機設置環境を提供致します。



静けさ



**自動販売機の
新しい価値**

冷却を止めるから、ほぼ無音。消しゴムで消すときの音より静か



自販機の製品を冷たく保つには、冷却音がつきものでした。



日中に冷却運転を停止すれば、おどろくほど静かになります。



冷たい製品を提供することと低騒音。発想を変えれば、それは両立できるのです。

ピークシフト自販機 《特長④》

特長

4

年間消費電力量
-10%以上



(JIS年間消費電力量)

ピークシフト

⇒最長16時間、消費電力95%OFF

実現するための技術

- ◆保冷・保温効果の向上
真空断熱材の使用量増加
熱リークの防止
- ◆全体冷却

機種	12年度標準機 4社平均	ピークシフト自販機	削減(%) 4社平均との比較
25W5	876 kWh	780 kWh	△11%
30W6	912 kWh	815 kWh	△11%
3036	891 kWh	695 kWh	△22%
36W6	940 kWh	835 kWh	△11%
42F7	1170 kWh	(未定)	

年間消費電力を従来の10%以上削減

節電時代の頼もしい味方です！

特長

5

短時間で 冷やせる

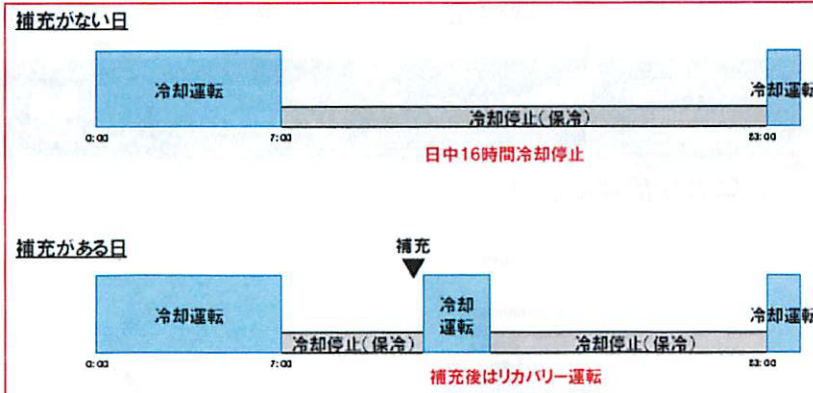
高い気密性と断熱効果で製品を冷却するまでに掛かる時間が従来機より**25%**早くなり、冷たい製品を早くご提供致します。

また、全体冷却により収容製品の全量を冷却するので**大量販売**にも最適です。

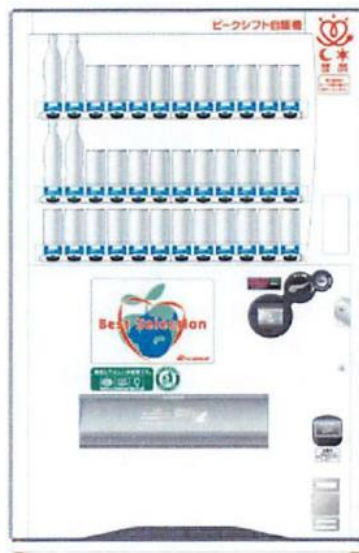
売上機会損失を軽減



【基本動作】



通常の日中は冷却機能を停止しているが、補充をする事で庫内の温度が上昇した場合は、リカバリー運転により、再度庫内の冷やしこみを行う。



お申込み・お問合せ先
ジャパンサービス株式会社
清涼飲料自動販売機サービス事業部
TEL 0120-1755-81
<http://japanservice.co.jp>
